



青葉の森公園芸術文化ホール開館30周年記念

野村萬齋 青葉の森 狂言の会

令和5年2月5日(日) 14:00 開演
13:00 開場

青葉の森公園芸術文化ホール
能舞台

演目

二人袴

三段之舞

親/野村 萬齋

太朗冠者/月崎 晴夫

舅/高野 和憲

後見/野村 太郎

簪/野村 裕基

素囃子 神楽

大鼓/原岡 一之
小鼓/森澤 勇司

大鼓/大川 典良
笛/八反田 智子

休憩十五分

昆布売

大名/野村 太郎

昆布売/高野 和憲

後見/月崎 晴夫

解説/野村 萬齋



料金

全席指定/3,000円 大学生/1,000円
小中高生/無料(要申込)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

プレイガイド

インターネットでのご予約

<https://www.cbs.or.jp/aoba/>



青葉の森公園芸術文化ホール.....043-266-3511
千葉県文化会館.....043-222-0201
千葉県東総文化会館.....0479-64-2001
千葉県南総文化ホール.....0470-22-1811

主催：千葉県

企画運営：公益財団法人 千葉県文化振興財団

問合せ/青葉の森公園芸術文化ホール 043-266-3511
<https://www.cbs.or.jp/aoba/>

昆布売 (こぶうり)

供を連れずに出かけた大名。たまたま通りかかった若狭の小浜の召し(献上)の昆布を売る男を脅し、太刀を持たせて供とする。始めはしぶしぶ従っていた昆布売りだが、大名が油断した隙に太刀を抜き、逆に脅された大名が昆布を売ることになる。物など売ったことのない大名は、昆布売りにさまざまな注文をつけられ…。

昆布売りが太刀を抜くことで強いはずの大名より優位に立つという、中世の下克上の世相を反映した立場の逆転が笑いを誘う狂言です。また昆布の売り声には、浄瑠璃節や踊り節など中世の流行歌謡が取り入れられています。

二人袴 三段之舞 (ふたりばかまさんだんのまい)

今日は聳入り(結婚後、妻の実家に初めて挨拶に行く事)の日。舅の家では準備を整え、聳が来るのを心待ちにしている。一方の聳は、一人で行くのは心細いからと父親に舅の家の門前まで付き添われてやってくる。聳に礼装の長袴をはかせてやり、父は表で待っていたのだが、太郎冠者に見つけられてしまい、父親も舅に挨拶することになってしまう。しかし、長袴は一つだけ。さて、この親子はどうやってこの場を切り抜けるのか…。

聳の天真爛漫な態度に慌てる父親。親子が舞う場面では囃子の入る三段之舞という演出でおおくりします。晴れやかな雰囲気をお楽しみください。

出演



野村 萬齋 (のむらまんさい)

1966年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定保持者。3歳で初舞台。東京藝術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に参加、普及に貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、舞台『敦一山月記・名人伝一』『国盗人』『子午線の祀り』など古典の技法を駆使した作品の演出など幅広く活躍。各分野で非凡さを発揮し、狂言の認知度向上に大きく貢献。現代に生きる狂言師として、あらゆる活動を通し狂言の在り方を問うている。94年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、毎日芸術賞千田是也賞、読売演劇大賞最優秀作品賞、2021年観世寿夫記念法政大学能楽賞、松尾芸能賞大賞を受賞した。石川県立音楽堂邦楽監督。東京藝術大学客員教授。公益社団法人全国公立文化施設協会会長。

高野 和憲 (たかの かずのり)、月崎 晴夫 (つきざきはるお)、野村 太一郎 (のむらたいちろう)、野村 裕基 (のむらゆうき)

交通アクセス

青葉の森公園芸術文化ホール

住所: 〒260-0852 千葉市中央区青葉町977-1 TEL: 043-266-3511

- JR 千葉駅中央改札(東口)より
2番のりば 星久喜台経由「ハーモニープラザ」下車 徒歩約8分
7番のりば 「中央博物館」下車 徒歩約10分
- JR 蘇我駅東口より
2番のりば 大学病院行き「芸術文化ホール」下車 徒歩約5分



- 京成千原線
千葉寺駅より 徒歩約15分

- 京葉道路 松ヶ丘インターより約10分
- 千葉東金有料道路 千葉東インターより約10分

